

自己評価結果(令和3年度)

川辺町第2こども園

評価項目	評価内訳(割合)		
	できている	少しできている	できていない
第1章 総則 教育・保育の基本	66.7%	14.2%	19.1%
1. 教育・保育の基本	61.4%	10.0%	28.6%
2. 教育及び保育の配慮	75.7%	5.7%	18.6%
3. 教育課程・全体的な計画、指導計画作成と評価	70.9%	17.7%	11.4%
4. 特別支援教育・障がい児保育	55.6%	13.3%	31.1%
5. 「育みたい3つの資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」	34.3%	17.1%	48.6%
6. こどもの発達	58.6%	25.7%	15.7%
第2章 「ねらい」及び「内容」	87.0%	3.3%	9.7%
1. 乳児保育に関わるねらい及び内容	77.1%	14.3%	8.6%
2. 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容	94.4%	2.0%	3.6%
3. 保育の実施に関わる配慮事項(乳児・1歳以上3歳未満児)	84.0%	2.0%	14.0%
4. 3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容	85.0%	2.6%	12.4%
第3章 健康及び安全	73.9%	7.3%	18.8%
1. 健康支援	75.7%	7.1%	17.1%
2. 食育	83.6%	3.6%	12.7%
3. 環境・衛生管理、安全管理	67.3%	9.1%	23.6%
4. 災害への備え	69.2%	9.2%	21.5%
第4章 子育て支援	78.9%	11.1%	10.0%
1. 園児の保護者に対する子育て支援	84.0%	2.0%	14.0%
2. 地域における子育て支援	72.5%	22.5%	5.0%
第5章 職員の資質向上	73.3%	13.3%	13.3%
合計	78.7%	7.6%	13.6%

達成状況	できていること	できるとよかったこと
第1章 総則 教育・保育の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちが遊びに興味や関心を持ちながら、意欲的に活動する姿を認めたり励ましたりしている。 ・健康状態を把握し、こどもたちが安心して園生活を過ごせるように心がけている。 ・こどもたちの様子を情報共有し、必要な場合は専門機関からの助言等を得ながら、一人ひとりの特性や発達の過程に応じて援助ができるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育、保育要領」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を具体的に説明できるまでには至っていない。 ・「こどもたちのペース」、「肯定的な言葉かけ」を意識しているが、こどもたちをせかしたり、制止する言葉や抽象的な言葉を用いたりしてしまうことがある。

第2章 「ねらい」及び「内容」	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、排泄、衣服の着脱などはこどもたち一人ひとりの状況に応じて、自分でしようとする気持ちを大切にしながら対応している。 ・こどもたちが自分で考え行動できる、また物事を諦めずにやり遂げることができる活動になるようにしている。 ・作ったり、描いたり、考えたりしたことをこどもたちが互いに見せ合ったり、話し合ったりする機会がつけられるよう心がけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちが自分の想いをすぐに描いたり作ったりできるような環境が足りないように感じた。 ・地域の人々とふれあう機会がなく文化についての気付きに促すことが難しいと感じた。
第3章 健康及び安全	<ul style="list-style-type: none"> ・園での活動の様子や個々の健康状態などを把握して、保護者に分かりやすく伝えるようにしている。 ・室内の清掃や換気、消毒などをきめ細かく行い、自身の健康チェックや服装などに気を配り、こどもたちが健康で清潔となるよう心がけた。 ・野菜をの生長を観察したり収穫したものを各家庭へ持ち帰り食育につながりよう心がけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような場所でのどのような事故が起こりやすいのかは認識しているがデータ化までには至っていない。
第4章 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が気軽に相談できるよう心がけ、相談内容は他の保育教諭と共有し、園全体で対応するようにしている。 ・子育ての相談内容に応じて関係機関と連絡や協力、調整などに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響もあり、地域の子育て支援のための取り組みを十分に行うことができなかった。
第5章 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容を他の保育教諭に説明し意見や提案を聞きながら、こどもたちにとって最適な環境となるようにしている。 ・リモート研修を受講できるようにし、他園での実践等を学び、様々なケースに対応できるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年と比べて研修に参加する機会や他園との交流、見学が少ないこともあり資質向上が十分にできなかった。

<p>< 来年度取り組むべき課題及び提案 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内研修などを通して「教育・保育要領」「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」などについて意見を交わし、保育教諭としての専門性の向上を図っていく。 ・コロナ禍で様々な制限が続くことが予想される中、こどもたちが楽しく園生活を過ごせるように新たな活動などを考えていく。 ・こどもたちの興味や関心が持てるような環境を整え、「見守り」「寄り添い」ながら、こどもたちが自ら取り組んでみようとする気持ちを大切にしていく。 ・ホームページなどを活用して、こども園での活動の様子を写真や動画で配信し、保護者や地域の人に知っていただけるようにしていく。
--